「縮小社会の エビデンスと メッセージ展 関連イベント

基本情報

国際日本文化研究センター共同研究会 「縮小社会の文化創浩:

個・ネットワーク・資本・制度の観点から」 (人間文化研究機構「博物館・展示を活用した 最先端研究の可視化・高度化事業 |) / 京都精華大学国際マンガ研究センター/ 京都国際マンガミュージアム

伊藤遊

縮小社会を考える映画祭

日時/『上映作品』

- I 2022年1月29日[土] 13:00-16:30 『双子暦記・私小説』(2018年製作、110分)
- 2 2022年1月30日[日] 13:00-16:30 『桜の樹の下』(2016年製作、91分)
- 3 2022年2月19日[土] 13:00-16:30 『春画と日本人』(2018年製作、87分)
- 4 2022年2月20日[日] 13:00-16:30 『孤独なツバメたち~デカセギの 子どもに生まれて~』(2012年製作、121分)

会場

「オンライン]

出演者

- I 原將人(映画監督)/原真織(女優)
- 2 田中圭(映画監督)/ 三脇康生(仁愛大学教授、コメンテーター)
- 3 大墻敦(映画監督)/ 石上阿希(国際日本文化研究センター 特任助教、コメンテーター)
- 4 津村公博(映画監督)/ 玉野井麻利子(UCLA教授)+ 谷川建司(早稲田大学客員教授、 コーディネーター)[司会]

参加者数(登録者数)

1 45名 2 91名 3 89名 4 79名

実施概要 企画展「縮小社会のエビデンスとメッセージ」の関連イベントとして、いくつかの 関連イベントが実施された。●「縮小社会を考える映画祭」は、展示企画者のひとりでも ある谷川建司氏セレクトによる、「縮小社会 | をとらえた優れたドキュメンタリー 映画作 品4本を紹介するシリーズ。毎回、各作品の監督らをゲストに、コメンテーターのコメン トと、参加者からあらかじめ募った質問などを投げかけつつ、作品を深掘りした。当初 は、映画上映を含め、リアル開催を想定していたが、コロナ禍のためにオンラインでの 運営に切り替えた。参加者=登録者は、あらかじめ、動画共有サイトにアップされた映 画を観ておき、オンタイムのオンライントークショーを視聴する、という形を採った。●展覧 会でも紹介していた「屋台カフェ」は、「医者や看護師など医療従事者が小さな屋台を ひいて街を歩き、コーヒーやお茶をふるまいながら、気軽に健康の話をする活動したが、 このカフェを主催している医師の守本陽一氏を招き、マンガミュージアムの来場者を対 象に、普段の活動を再現してもらった。また、トークショーでは、フランスの地域精神医 療に詳しい三脇康生氏と、障害を持った人たちの創作活動の専門家である服部正氏 も加わり、地域医療にアートを活かす可能性について議論した。●展覧会を含む企画の 総集編として、「縮小社会、文化はどうなる!? | と題したシンポジウムも開催された。第 1部の対談「トルコからみた、縮む日本」では、トルコ在住で、「わたし今、トルコです。」 などで知られるマンガ家の市川ラク氏をゲストに(オンライン出演)、日本の外からの視点で 〈縮小社会〉について考えた。第2部のパネル討論「縮小社会展からのメッセージ」では、 展覧会の元となった日文研の研究会メンバーが、あらためて〈縮小社会〉の現在と未来 について議論した。
・
・ また、シンポ同日、
「縮小社会を考える映画祭」の
「春画と日本人」 の回で、会場に展示される予定だった国際日本文化研究センター所蔵の春画の特別 展示を行った。シンポジウム終了後には、春画研究者で京都精華大学非常勤講師 の鈴木堅弘氏が、展示した春画のみどころなどを解説した。 「文青=伊藤遊]

「人がつながる屋台カフェ」+

トークショー「屋台から社会的処方へ」

2022年5月8日[日] 13:00-14:30 (屋台カフェ) 15:00-16:30 (トークショー)

- 具場

京都国際マンガミュージアム デッキテラス(屋台カフェ) 2階 ギャラリー 6 (トークショー)

出演者(トークショー)

宇本陽一(公立出石医療センター 総合診療科医員/一般社団法人ケアと暮らしの 編集补代表理事)/

三脇康生(仁愛大学教授/精神科医)/

服部正(甲南大学教授)[聞き手]

参加者数(トークショー)

46名

シンポジウム「縮小社会、文化はどうなる!?|

2022年5月14日[土] 13:30-16:30

京都国際マンガミュージアム 1階 多目的映像ホール

出演者

(第1部)

市川ラク(マンガ家)(*オンライン出演)/

吉村和真(京都精華大学教授)

(笛つ部)

山田奨治(国際日本文化研究センター教授)/

服部下(甲南大学教授)/

谷川建司(早稲田大学客員教授)/

髙橋耕平(アーティスト)/

玉野井麻利子(UCLA教授)

参加者数

60名





「屋台カフェ」 イベントでは、 屋台を使った 社会活動をしている という人たちが、 自作の屋台を持って 参加した。



トークショー 「屋台から 社会的処方へ」にて。

<u>右</u> シンポジウム 「縮小社会、 文化はどうなる!?」にて。









シンポジウム 「縮小社会、 文化はどうなる!?」にて。